
全国高等専門学校

第18回プログラミングコンテスト

本選実施要項（参加要項）

この要項は、本選実施に関する重要なものです。本選に出席される関係者に至急お渡しください。

課題部門・自由部門・競技部門ともに9月7日（金）必着で提出いただきたい書類等がありますので、内容のすべてに必ず目を通してください。また、本選時にはこの資料を必ずお持ちください。

全国高等専門学校第18回プログラミングコンテスト委員会

全国高等専門学校 第18回プログラミングコンテスト
本選実施要項（参加要項）

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）	1
1. 1 主催・後援・協賛	1
1. 2 事務局	1
1. 3 参加者	2
1. 4 審査委員	2
1. 5 会場案内	3
1. 6 日程	4
1. 7 提出書類	5
[1] 9月7日（金）必着分	
[2] 受付時提出書類	
1. 8 知的所有権について	6
1. 9 表彰について	7
1. 10 学生交流企画について	7
1. 11 会場使用上の注意点について	7
1. 12 宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会および会場への交通	8
1. 13 問い合わせ先	9
1. 14 著作物等の扱いについて	9
1. 15 その他の注意事項	9
2. 課題・自由部門についての連絡事項	10
2. 1 システムの搬入・搬出について	10
2. 2 プレゼンテーションについて	10
2. 3 デモンストレーションについて	11
2. 4 本選審査手順について	12
3. 競技部門についての連絡事項	14
3. 1 組み合わせ	14
3. 2 競技進行の概要	14
3. 3 競技部門の賞	14
3. 4 予行演習	14
3. 5 注意事項	14
3. 6 質問受付	14
付録1 会場案内図	
付録2 交通案内	
付録3 課題部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録4 自由部門 プレゼンテーション審査タイムテーブル	
付録5 ブースの配置と展示スペースの概略寸法	
付録6 デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル	
付録7 競技組み合わせ	
同意書	1通
システム等の調書	2通

1. 大会全般についての連絡事項（各部門共通）

1.1 主催・後援・協賛

主 催 高等専門学校連合会

共 催 第19回全国生涯学習フェスティバル実行委員会（岡山県）

後 援 文部科学省、岡山県、岡山県教育委員会、津山市、津山市教育委員会、
(社)コンピュータソフトウェア協会、(社)情報処理学会、
(社)電子情報通信学会、教育システム情報学会、(独)情報通信研究機構、
NHK、山陽新聞社、西日本放送、KSB瀬戸内海放送、OHK岡山放送、
TSCテレビせとうち、RSK山陽放送、テレビ津山、
プロコンの国際化を支援する会、
津山工業高等専門学校後援会、津山工業高等専門学校同窓会

特別協賛 東芝ソリューション(株)、富士通(株)、マイクロソフト(株)、(株)インテム、
(株)オプティム、サイボウズ(株)、(株)jig.jp、
(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス、チームラボ(株)、ネクストウェア(株)、
(株)BCN、(株)ブロードリーフ、(株)ミクシィ

一般協賛 アイフォーコム(株)、(株)インテリジェント ウェイブ、(株)ヴァル研究所、
(株)CIJ、シーティーシー・テクノロジー(株)、セイコーエプソン(株)、
(株)デザイン・クリエイション、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、
ニスコム(株)、日本SGI(株)、日本電気(株)、メガソフト(株)、
(株)ルネサス テクノロジ、(株)ワコム、総合警備保障(株)、(株)タマディック

1.2 事務局

大会事務局 独立行政法人 国立高等専門学校機構企画課内

委員会事務局 津山工業高等専門学校学生課内

公式サイト <http://www.procon.gr.jp/>

1.3 参加者

予選において選抜された作品の制作学生及び指導教員

- 課題部門 21 チーム
- 自由部門 20 チーム
- 競技部門 55 チーム
- オープン参加 海外参加チーム 2ヶ国 4チーム
ベトナム国立大学ハノイ校 課題部門1チーム、競技部門1チーム
大連東軟情報学院 課題部門1チーム、競技部門1チーム

1.4 審査委員（敬称略、五十音順）

審査委員長

神沼 靖子（前 前橋工科大学 教授）

審査委員

猪子 寿之（チームラボ(株) 代表取締役社長）
臼井 支朗（理化学研究所 脳科学総合研究センター チームリーダー）
梅村 恭司（豊橋技術科学大学 教授）
遠藤 直樹（東芝ソリューション(株) 技監）
大岩 元（慶應義塾大学 教授）
大山 堅司（(株)ブロードリーフ 代表取締役社長）
尾川 正美（富士通(株) 文教ソリューション事業本部 専任部長）
小山 浩之（(株)ミクシィ 技術顧問）
金澤 徹（(株)インテム 代表取締役社長）
國枝 義敏（立命館大学 教授）
清水 洋三（(社)コンピュータソフトウェア協会 名誉顧問）
菅谷 俊二（(株)オブティム 代表取締役社長）
高山 由（(株)BCN 最高顧問）
田中 達彦（マイクロソフト(株) デベロッパー&プラットホーム統括本部
アカデミック情報教育推進部 マネージャ）
豊田 崇克（ネクストウェア(株) 代表取締役社長）
福野 泰介（(株)jig.jp 代表取締役社長）
松澤 照男（北陸先端科学技術大学院大学 教授）
松下 悟（(株)神鋼エンジニアリング&メンテナンス システムエンジニアリング部長）
南崎 英和（NHK 報道局 編集主幹）
宮地 力（国立スポーツ科学センター 副主任研究員）
山本 泰宇（サイボウズ(株) 執行役員）
吉川 敏則（長岡技術科学大学 教授）
N. N, Binh（ベトナム国立大学 教授）

[マニュアル審査]

久保 慎一（ネクストウェア(株) リソース戦略本部 部長）
津曲 潮（(株)デザイン・クリエイション）

1.5 会場案内

本選会場の主な施設名及び使用目的をお知らせします。

詳細な会場案内については付録1の会場案内図または公式サイトをご覧ください。

(1) 1階

【クローク】	受付、総合案内
【ホワイエ】	協賛企業PR展示、自由部門デモンストレーション
【大ホール】	開・閉会式、競技部門、学生交流会
【1階客席】	来賓・役員客席、一般客席、学生客席

(2) 中2階

【展示館】	課題部門デモンストレーション
【応接室】	来賓室
【市民サロン】	大会総務

(3) 2階

【中会議室】	自由部門プレゼンテーション
【第1会議室】	競技部門共用準備会場
【食堂】	弁当配布
【2階客席】	学生客席

(4) 3階

【大会議室】	課題部門プレゼンテーション会場
【3階客席】	学生客席
【第6会議室】	審査委員会
【第5会議室】	プログラミングコンテスト委員会
【第4会議室】	大会本部(主管校事務局)
【和室1号】	校長、部長、学校関係者控室
【和室2号】	協賛企業関係者控室
【和室3号(第7会議室)】	報道関係者控室

1.6 日程

10月5日(金) 参加者受付

17:00~18:00 会場(津山文化センター 1階クローク)で受付を行います。
(受付場所は、「付録1 会場案内図」をご覧ください。)

引率教員が受付を済ませ、名札、配付資料を受領してください。

提出物については、「1.7 提出書類 [2] 受付時提出書類」をご覧ください。

17:00~18:00 競技会場(大ホール)見学

17:00~18:00 課題・自由プレゼンテーション会場(大会議室・中会議室)PC接続確認

10月6日(土)

- やむを得ず前日に受付ができなかった参加チームの引率教員は、会場で受付を済ませてください。
- やむを得ず当日受付を希望するチームは、プロコン委員会事務局(「1.13 問い合わせ先」参照)に事前にご連絡ください。

7:30 開場

7:30~8:30 参加者当日受付(1階クローク)

8:30~8:40 課題・自由部門 参加者連絡会議(大会議室)

8:40~9:15 課題・自由部門 システム搬入チェック(展示館・ホワイエ)

8:40~9:00 競技部門 参加者連絡会議(大ホール)

9:30~10:00 開会式(大ホール)

10:10~10:30 課題・自由部門 システムセッティングⅠ(展示館・ホワイエ)

10:10~16:50 課題部門 プレゼンテーション審査(大会議室)

10:10~16:37 自由部門 プレゼンテーション審査(中会議室)

10:30~17:00 課題・自由部門 デモンストレーション 一般公開(展示館・ホワイエ)

10:10~13:00 競技部門 予行演習(大ホール)

14:00~17:30 競技部門 1回戦(大ホール)

17:30~19:00 学生交流企画(大ホール)

18:00~20:00 指導教員懇親会(国際ホテル)

10月7日(日)

7:30 開場

8:10~8:30 競技部門 参加者連絡会議(大ホール)

8:30~14:00 競技部門 敗者復活戦、準決勝戦、決勝戦(大ホール)

8:10~8:20 課題・自由部門 参加者連絡会議(大会議室)

8:20~8:50 課題・自由部門 システムセッティングⅡ(展示館・ホワイエ)

8:50~12:00 課題・自由部門 デモンストレーション審査・マニュアル審査(展示館・ホワイエ)

8:50~14:00 課題・自由部門 デモンストレーション 一般公開(展示館・ホワイエ)

14:00~14:30 課題・自由部門 システム梱包および業者引き渡し(展示館・ホワイエ)

14:30~15:00 学生交流企画(大ホール)

15:10~16:00 閉会式(大ホール)

1.7 提出書類

[1] 9月7日(金)必着分

予選後ご案内しましたとおり、次の2種類の書類を、平成19年8月31日(金)から9月7日(金)までの期間に、公式サイト上から提出してください。書類の提出方法については、この公式サイト「本選に関するオンライン化について」をご覧ください。

(1) パンフレット原稿

課題・自由部門の本選出場チームについては、本選時に配布するパンフレットの中に、発表要旨を掲載いたします。また、競技部門の本選出場チームは、同パンフレットの中にシステム概要を掲載いたします。公式サイトに掲載しています本選概要の執筆要項および見本を参考に原稿執筆の上、課題・自由部門の本選出場チームは「発表要旨」を、競技部門の本選出場チームは「システム概要」をそれぞれ提出してください。パンフレットの印刷の都合上、わずかの遅れも許されませんので、よろしくお願ひします。

(2) システム等の調書

調書は公式サイトからファイルをダウンロードして記入してください。特に、課題・自由部門の参加者は、表中の「ハードウェア構成」の欄に機種名・台数等をできるだけ詳しく記述してください。会場の設営に必要ですのでご協力をお願いします。デモンストレーション会場においては、インターネット接続を準備します。詳細については公式サイトでお知らせします。

[2] 受付時提出書類

課題・自由部門および競技部門の本選参加チームは、10月5日(金)の受付時に、下記書類を提出してください。作成にあたっては、下記のそれぞれの指示に従ってください。

規定外のものが提出されると失格となることがありますので注意してください。

【課題・自由部門】

(1) プログラムソースリスト(3部)

- A4用紙(縦置き横書き)に黒字で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のバインダー等で綴じ、用紙が散逸しないようにしてください。
- 表紙を必ずつけ、部門名、発表順番号、タイトル名、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- バインダーの表紙と背表紙に部門名、発表順番号、タイトル名、学校名を明記してください。

(2) 操作マニュアル(4部)

- A4用紙(縦置き横書き)とし、鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- 起動から終了までのすべての手順を、わかりやすく記述してください。
- 用紙の先頭部分に、部門名、発表順番号、タイトル名、学校名を明記してください。
- ページ番号をつけてください。
- 用紙の左上1箇所を綴じてください。
- 操作マニュアルは10ページ以内で作成してください。
- 本選では、このマニュアルを見て、はじめてシステムに接する人が実際に操作します。

【競技部門】

プログラムソースリスト（1部）

- A4用紙（縦置き横書き）に黒色で鮮明に印刷したものを提出してください。
- コピーでも可ですが、極端な縮小コピーはしないでください。
- ページ番号をつけてください。
- 2穴式のバインダー等で綴じ、用紙が散逸しないようにしてください。
- 表紙を必ずつけ、部門名、登録番号、タイトル名、学校名、学生名、指導教員名を明記してください。
- バインダーの表紙と背表紙に部門名、登録番号、タイトル名、学校名を明記してください。

各部門共通

著作物等の扱いに係わる同意書（1通）

- 「1. 14 著作物等の扱いについて」に記載した内容（著作物等の利用に関する許諾）について、各部門ごとに同意書を提出してください。
- 同意書は、公式サイトからファイルをダウンロードしてご使用ください。同意書は、必ず署名（登録されている指導教員および学生）のうえ受付時に提出してください。

1.8 知的所有権について

作品の制作および発表にあたっては、知的所有権の侵害のないように十分にご注意ください。従来例では、

- キャラクターの引用
- 既存の音楽の引用
- 文献からの無断転載

などがありました。制作にあたる学生は知的所有権についての理解が不十分と思いますので、指導教員はその点について十分にご指導くださいますようお願いいたします。

1.9 表彰について

閉会式では、表彰が行われます。表彰では以下の各賞が授与されます。

課題部門	自由部門	競技部門
文部科学大臣賞 情報処理学会からの奨励賞 最優秀賞	文部科学大臣賞 情報処理学会からの奨励賞 最優秀賞	文部科学大臣賞 情報処理学会からの奨励賞 優勝
優秀賞	優秀賞	準優勝
		第三位
特別賞	特別賞	特別賞
敢闘賞	敢闘賞	

- 課題・自由部門全チームの代表者、および競技部門入賞チームの各代表2名は、14時15分までに大ホール1階客席の指定された席に着席してください。
- 表彰の進行手順については閉会式の前に説明します。

1.10 学生交流企画について

参加者の交流を促進するため、以下のような催しを行う予定です。

日程および会場の詳細は、受付時にお知らせします。

- プロコン！クイズ選手権
- 特別講演
- シール交換
シールに氏名や学校名を記載して「名刺」として参加学生間で交換し交流を深める。

1.11 会場使用上の注意点について

付録1に会場案内図を添付します。ご参照ください。

- 客席での飲食は禁止です。飲食は、食堂あるいは3階吹抜で済ませてください。
- 貴重品は、身に付けるなどして各自で管理してください。
- プレゼンテーション会場、デモンストレーション会場、競技会場、開・閉会式会場では、必ず携帯電話・PHSの電源を切るか、あるいはマナーモードに設定してください。

1.12 宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会および会場への交通

宿泊案内

学生および引率教員の宿舎は津山市内及び湯郷温泉の旅館等を予定しています。宿泊施設については9月14日(金)までに下記の旅行代理店からご連絡いたします。

昼食弁当

昼食弁当は、6日(土)と7日(日)の両日とも、**11時00分**から食堂で配布します。弁当引換券を持参のうえ受け取ってください。**客席での飲食は禁止**ですので、昼食は食堂あるいは3階吹抜の決められた場所をお願いします。弁当の空箱等は、**14時00分**までに食堂へ返却してください。

指導教員懇親会

10月6日(土)の18:00~20:00、国際ホテルにおいて指導教員懇親会を開催いたします。参加費用は一人5,000円です。参加の申込みおよび会費の振込みは、既に宿泊・昼食弁当とともに行っていたことと思います。追加の申込については、下記の旅行代理店にお問い合わせください。

追加・変更

宿舎・昼食弁当・指導教員懇親会については、既にJTBトラベランド「アルネ津山店」よりご案内があったことと思います。これらの件に関する追加・変更等は、下記の旅行代理店担当者へ直接連絡してください。

JTBトラベランド「アルネ津山店」(担当:山村 峰)
〒708-0065 津山市新魚町17 アルネ津山4F
TEL: 0868-22-9137 FAX: 0868-23-6048
営業時間: 10:00~19:00 (年中無休)

会場への交通

本選前日(10月5日(金))は、「**1.6** 日程」で説明しましたように、17:00~18:00の時間に受付をしていただきます。津山駅から会場までの経路につきましては、「**付録2** 交通案内」をご覧ください。所要時間は徒歩20分、タクシー5分程度です。

宿泊を申し込まれた参加者のうち、遠方の宿舎の場合には、宿舎が用意した送迎バスで会場と宿泊施設間を送迎します。

それ以外の参加者は、各自で会場と宿泊施設間の移動をお願いします。

宿泊を申し込まれた参加者用送迎バス

10月5日(金) 受付終了後、会場から宿舎までお送りする予定です。

10月6日(土) 7:00頃、宿舎から会場へ、また、学生交流企画及び指導教員懇親会終了後、会場から宿舎までお送りする予定です。

10月7日(日) 7:00頃、宿舎から会場までお送りする予定です。
閉会式後は、各自、移動をお願いします。

公共交通機関については、本選会場の受付・総合案内にお問合せください。

1.13 問い合わせ先

本選実施要項及び本選に関する問い合わせは、下記へお願いします。

問い合わせ先

〒708-8509 津山市沼624-1

津山工業高等専門学校 プロコン委員会事務局（学生課学生生活係 担当：土屋 信雄）

TEL: 0868-24-8294 FAX: 0868-24-4403

E-mail: jimul8@procon.gr.jp

1.14 著作物等の扱いについて

提出していただいた資料、撮影した画像・ビデオ等の著作物については以下のように扱いますので、あらかじめご了承ください。もし支障がある場合には、プロコン委員会事務局へご連絡ください。

- 応募時に提出していただいた書類（作品紹介、応募内容ファイル）および9月7日(金)締切で提出していただくパンフレット原稿（発表要旨、システム概要）、操作マニュアルは公式サイトで公開する場合があります。
- 課題・自由部門のプレゼンテーションおよびデモンストレーションをビデオ撮影します。撮影したビデオおよびプレゼンテーション用データを高専の教材として使用する場合があります。
- 本選期間中、コンテストの様相や参加チーム毎のスナップ写真を撮影します。これらの画像はプロコン公式サイトで公開、およびプロコンパンフレット等に掲載する場合があります。
- 本選の様相をインターネット経由で全国高専へLIVE配信します。
- 例年通り、記録ビデオを撮影・編集し、CD-ROMで配布するとともに公式サイトで公開します。

1.15 その他の注意事項

- テレビ・新聞・雑誌等の取材がある場合は、明るく活発な高専のイメージが出るよう、ご協力をお願いします。
- 協賛いただいた企業やプロコン委員の先生方、開催地の方々等、多くの方のご努力によりこのコンテストが運営されています。感謝の気持ちを忘れないようにお願いします。
- 本コンテストは第19回全国生涯学習フェスティバルーまなびピア岡山2007ー（文部科学省、岡山県等主催）への参加企画のひとつであり、出展した作品は、一般公開されますので、デモンストレーション一般公開中は必ず学生の説明者をつけてください。
- 服装と身だしなみは、学生に相応しい清楚・質素なものとしてください。

2. 課題・自由部門についての連絡事項

2.1 システムの搬入・搬出について

- システムの搬送方法については、すでにご案内しましたとおりです。詳細は公式サイトをご覧ください。
- 課題・自由部門のシステム搬送中の破損事故を防止するため、主管校がご案内しました、引越便仕様を推奨いたします。梱包は依頼者側で行い、見易い位置に**梱包識別票**を必ず貼付してください。
- システムは業者によって、10月5日(金)の午後にデモンストレーション会場(展示館・ホワイエ)に搬入されます。課題・自由部門の参加チームは、搬入されたシステムの確認を、10月6日(土)の8:40よりデモンストレーション会場で行ってください。
- 搬出については、10月7日(日)の14:00~14:30の間にシステムを梱包の上、**梱包識別票**を貼付して、業者に引き渡してください。
- **梱包識別票**は、公式サイトからダウンロードできますので、ご利用ください。

2.2 プレゼンテーションについて

プレゼンテーション審査の概要

- システムの特徴や有用性、制作上のポイントなどを口頭で発表してください。
- 発表は一人で行ってください。
- 1テーマあたりの発表時間は8分とし、質疑応答を4分とします。8分を過ぎた時点で発表を停止し、直ちに質疑に移りますのでご注意ください。
- 機器は、パソコンの画面が表示可能なプロジェクタを使用できます。プロジェクタは640×480ドット(VGA)、800×600ドット(SVGA)、1024×768ドット(XGA)の解像度に対応可能です。接続推奨パソコンはDOS/V仕様で、接続可能なコネクタは「ミニD-SUB15pin」です。なお、スクリーンは1面のみ利用可能です。
- パソコン接続および操作は、発表チームの学生が行ってください。
- プレゼンテーションツールを使用する場合はナレーションを入れることは認めません。必ず口頭で説明を行ってください。ただし、発表全体の構成上必要と思われる場合は、適当に効果音を入れても構いません。
- 発表順序は主催者側で厳正に抽選した結果、7月2日付けで送付しました予選通過テーマ一覧のようになりましたのでご了承ください。

プレゼンテーション審査のタイムテーブル

付録3、付録4にプレゼンテーション審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意のうえ遅れないように準備してください。

プレゼンテーション審査についての注意事項

- 発表があるセッションが始まる前に、各発表者は会場で待機してください。また、担当者の指示に従ってパソコンを起動し、すぐに発表できる投影状態にして待機してください。
- 司会者に名前を呼ばれたら、登壇してください。
- 発表は8分、質疑応答は4分です。予鈴は6分で1鈴、8分で2鈴、12分で3鈴、そして終了です。発表の途中であっても、8分を過ぎた時点で発表を打ち切り、直ちに質疑に移りますので注意してください。
- 審査委員の質問には、発表者だけが答えてください。
- ノートパソコンの操作要員として補助学生をつけても構いません。

2.3 デモンストレーションについて

システム搬入チェック 【10/6(土) 8:40~9:15】

- 搬送されたシステムは各ブースに置いてあります。
- 搬送個数の確認と、外形上の損傷の有無を確認してください。

システムセッティング【10/6(土) 10:10~10:30、10/7(日) 8:20~8:50】

- ブースの配置と展示スペースの概略寸法は付録5を参照ください。
- システムをセットする机の後ろには、掲示用パネルを用意します。このパネルにシステムの概要を示す概要説明図等を掲示してください。概要説明図の内容は自由ですが、システム名(タイトル名)と学校名を明示してください。なお、説明は一般の入場者にもわかりやすいように工夫してください。
- 説明用パネルを吊りさげる金具(フック)を1個用意しますので利用してください。
- 課題部門・自由部門の各作品は、机や参加者の椅子なども含めて幅180cm、奥行150cm、高さ200cmの範囲内にセッティングしてください。なお、机は幅180cm、奥行120cmです。
- 掲示用パネルは幅180cm、高さ180cm、厚さ3cm程度の会場設備の衝立パネルを用意します。画鋏は使用してもかまいませんが、主催者では用意しません。必要に応じて各チームで用意してください。セロテープ等粘着性のあるものおよびネジがついた埋め込み式の止め具は使用できません。
- システム搬入に使用した“段ボール箱など”は、基本的に机の下に置いてください。納めきれない場合には、プロコン委員の指示に従って、3階吹抜の所定の置き場に整理・整頓して納めてください。
- システムを置く机の下にコンセントを少なくとも1口は準備します。それ以上必要な場合はテーブルタップ等を準備してください。また、合計容量は約500Wです。容量オーバーによる停電等電氣的トラブルが発生しますと、大会に重大な影響がでますので、この電力を絶対に超えないようにしてください。
- 各ブースにはLANケーブルを1本用意します。
- システムの最終調整と、ブース内の整理整頓を行ってください。
- 一般公開とデモンストレーション審査に備えてください。

デモンストレーション一般公開【10/6(土) 10:30~17:00、10/7(日) 8:50~14:00】

デモンストレーションは、高専教育の成果を、学外の方々に公開する大きな意義があり、高専学生の熱気と創造性豊かなエネルギーを発表する場であることを十分に認識し、次の項目に沿って実施してください。

- 一般入場者にも、親切に分かりやすく説明してください。各テーマに精通した方や全く素人の方、年輩の方や子供さんの見学が予想されます。相手に応じた説明が必要になります。
- 一般公開は、プレゼンテーション審査、デモンストレーション審査およびマニュアル審査と並行して行います。
- デモンストレーション審査委員またはマニュアル審査委員がみえたら、一般公開での説明などを中断し、審査を受けてください。
- 会場の各作品のブースには、説明者を常時2名以上配置してください。
- 昼食などは交代で摂り、説明する学生が不在にならないようにしてください。
- 各高専のコンテストに関する情報交換の場として、積極的に利用してください。

デモンストレーション審査【10/7(日) 8:50~12:00】

- 審査委員が小グループに分かれ巡回審査します。審査委員が審査に来られたら、システムを実行させ操作しながら審査委員に対して口頭で説明してください。また、審査委員の質問にも答えてください。
- 説明時間は5分を限度とし、質疑応答2分、移動を含め計7分以内です。
- 審査対象は課題・自由部門の全ての作品です。
- デモンストレーション審査は一般公開と並行して行われますが、この審査を最優先して行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。

マニュアル審査【10/7(日) 8:50~12:00】

提出した操作マニュアルどおりにシステムが動くかどうかのチェックを行います。

- 作品の審査時間は、移動を含めた7分間です。
- マニュアル審査は1名で行います。審査には運営責任者としてプロコン委員1名が付きまます。
- 審査対象は課題・自由部門の全作品です。
- マニュアル審査も一般公開と並行して行われますが、この審査を優先して行います。

デモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブル

付録6にデモンストレーション審査、マニュアル審査のタイムテーブルを掲載しました。あくまでも目安時間ですので、進行状況に留意してください。

システムの搬出【10/7(日) 14:00~14:30】

- デモシステムを梱包し、梱包識別票を貼付して各ブースの机に置いてください。
- 搬出のための梱包が完了した時点で、搬送業者に引き渡してください。輸送用ボックスの収納スペース以内であれば手荷物等の返送も自由ですが、業者と相談のうえ参加者の責任で依頼願います。
- “ごみの持ち帰り”や“忘れ物”には特に注意してください。
- 使用したブースなどの“後片付け”と“清掃”を実施してください。
- 梱包に必要な資材は参加者で準備してください。

2.4 本選審査手順について

I. 各審査委員における評定

1. **プレゼンテーション審査**：A,B,Cの3段階評価します。
独創性（最重点）、システム開発の技術力（プログラムソースリストを含む）、記述力、発表能力、有用性等を総合して評価します。
2. **デモンストレーション審査**：A,B,Cの3段階評価します。
独創性（最重点）、技術力、有用性、操作性、発表能力、発表揭示、完成度等を総合して評価します。
3. **マニュアル審査**：正確性・記述力に関してそれぞれ5段階、3段階評価します。
正確性：A：マニュアルどおりに動作する。
A'：マニュアルどおりに動作するが、説明を受けないと分かりにくい。
B：一部マニュアルどおりに動作しない。
B'：マニュアルどおりに動作しない状態が何箇所かある。
C：マニュアルとして不備が目立つ。
記述力：A、B、Cの3段階評価（わかりやすさなど）

II. 選考の流れ

1. 評定一覧表の作成

一覧表に、各審査委員からの評定（A, B, C等）を入力します。

2. 点数換算集計表の作成

プレゼンテーション, デモンストレーションの審査評定は下記のように換算します。

A = 6, B = 3, C = 1 ; 各部門, 審査委員の評定を合計します。

マニュアルの審査評定は下記のように換算します。

正確性に関しては, A = 7, A' = 5, B = 3, B' = 2, C = 1

記述力に関しては, A = 3, B = 2, C = 1

プレゼンテーション・デモンストレーション・マニュアルの評定を合計し総合得点とします。

3. 成績順位表の作成

総合得点の高い順にソートし, 順位を算出します。

4. 選考の順序

以下の順序に従い, 審査委員会で審議・合議の上, 判断する。

(i) 最優秀賞, 優秀賞

得点のみの情報を提示し, 上位ノミネートチーム数を決定する。審査委員ごとに, 上位ノミネートチームについて順位を投票用紙に記入する。上位票における審査委員数の獲得数で文部科学大臣賞（最優秀賞）, 優秀賞を決定する（新增沢方式）。

(ii) 審査委員特別賞

(i) で最優秀, 優秀に選ばれなかったチームより, 課題部門・自由部門とも4チーム以内で選考する。

(iii) 佳作

佳作に該当する作品があるかどうか, 審議する。

※ 残りの作品は敢闘賞となる。

【参考】 新增沢方式 (<http://www2s.biglobe.ne.jp/~MUNYS/gauss/gauss.html> より)

3. 競技部門についての連絡事項

3.1 組み合わせ

1 回戦の組み合わせは審査委員に厳正にマジックナンバーを決めていただき、それを種としたコンピュータの擬似乱数により決定しました。審査委員に決めていただいたマジックナンバーは8154 でした。決定した組み合わせは、「付録 7 競技組み合わせ」の通りです。

3.2 競技進行の概要

- 競技は、1 回戦7 試合、敗者復活戦5 試合、準決勝戦3 試合、決勝戦1 試合により行います。
- 1 回戦は1 日目(10/6)、敗者復活戦・準決勝戦・決勝戦は2 日目(10/7)に行います。

3.3 競技部門の賞

- 決勝戦での成績により、優勝(文部科学大臣賞)、準優勝、第3 位を決定します。
- 応募書類および競技内容から特別賞を選考します。選考方法は競技の順位によらず、アイデア・技術力・完成度をパンフレットに記載されたシステム概要を含めて評価するものです。

3.4 予行演習

競技に先立って予行演習を行います。全チーム参加してください。

日時：10 月6 日(土) 10:10~13:00
会場：競技会場

予行演習のスケジュール等は競技部門参加者連絡会議(10月6 日8:40~, @競技会場)で連絡します。

3.5 注意事項

予選通過チーム数や海外チームの状況、およびプロトタイプ製作の状況等により、一部のルール等について、当初の案内から変更になっています。特に変更点や追加の連絡事項については注意しておいてください。

- 付録の組み合わせにあるように、1 つの対戦は最大9 チームとなりました。
- 単位正方形の大きさは一辺7cm となりました。
- 各ブースには、2 口の電源コンセント(合計300W 程度)を用意します。
- 対戦毎の石垣枠の形状、出品される石の種類と数、入札回数、各入札の最大入札石数と最大落札石数については、10/4(木)にプロコン公式サイトで公開する予定です。
- 入札状況や落札状況の情報提供システムとそのネットワークシステムについては、プロコン公式サイトをご参照ください。
- 競技部門準備会場には、出場者のノートPCを充電できるように、電源コンセントを用意する予定です。
- その他、今後の追加情報等については、随時プロコン公式サイトに掲載します。必ず確認するようにしてください。

3.6 質問受付

競技ルールについては、変更分も含めてプロコン公式サイトに掲載しています。これまでにお知らせした次の内容とともに再度ご確認下さい。

- 部門のご案内「競技部門のご案内」、「競技部門追加情報」、「競技部門追加情報2」

- 本選概要「競技部門のお知らせ」
- 本選実施要項「競技部門についての連絡事項」
- FAQ「競技部門」

上記の内容は、プロコン公式サイト (<http://www.procon.gr.jp/>) から参照できる、第18 回大会のサイトに掲載しています。

以上の内容を確認された上で不明な点がある場合は、9 月7 日(金)までの期間、質問を受け付けますので、プロコン委員会事務局の下記メールアドレスまでお問い合わせください。お問い合わせの回答はプロコン公式サイトで逐次公開しますので、ご参照ください。

問い合わせメールアドレス： jimul8@procon.gr.jp

- 質問に際しては、質問者の高専名、所属、氏名を明記してください。
- 質問は公開されることを念頭においてください。競技の勝敗を左右するようなアイデアでも公開します。